

源泉かけ流しと循環温泉

源泉かけ流しとは

源泉で浴槽を満たして、浴槽からお湯があふれ出ている状態の温泉のことを源泉かけ流しといいます。なお、法律などにより定義されている名称ではないため、温度調節のための加温や加水をしている温泉を含む場合もあります。

源泉かけ流しの温泉では、温泉の成分を十二分に味わえることから、温泉の効能がいっそう期待できます。

※地中からわき出た温泉そのもの

循環温泉とは

温泉を循環ろ過装置を通して循環させ、お湯を再利用している温泉です。フィルターでゴミを取り除いて、加熱や塩素消毒などを行い湯船に戻しています。温泉によっては、循環させる際に新しい源泉を追加するなどの工夫をしている場合などさまざまです。

源泉かけ流しの温泉と比べ、大きな浴場や露天風呂付きの客室など、施設を充実させることができます。

どっちにもいいところがあるんだね。
僕も自分に合った温泉を
探してみようっと。



定山溪温泉キャラクター
"かっぱん"

幻想的な光のイベント
ゆきとうろ
定山溪温泉雪灯路2013



2013個のスノーキャンドルが定山溪神社境内を温かい光で彩ります。

日時 平成25年2月5日(火)~11日(例)
会場 定山溪神社
(南区定山溪温泉東3丁目)

温泉街をぶらっと漫遊
定山溪ぶらり手形



冬から春にかけて販売しているお得な手形です。日帰り入浴や食事、買い物など、1枚の手形で4回も利用できます。

販売期間 平成25年2月5日(火)~
5月31日(金)
価格 大人1,600円、小人800円
販売場所 定山溪観光協会



豊かな自然の中に広々とした露天風呂が広がっています。

豊平峡温泉は、定山溪温泉から豊平峡ダムに向かって約3キロほど進んだ場所にあります。
こちらは、ナトリウムカルシウム炭酸水素塩・塩化物泉(旧泉質名・重曹泉)と呼ばれる温泉で、美肌効果があるといわれており、別名「美人の湯」とも呼ばれています。
湧出量は毎分450リットルで、泉温は約52度です。色は無色透明ですが、酸化によって次第に薄い緑褐色に変色していきます。効能は、神経痛や筋肉痛のほか、やけどなどに効くといわれています。

豊平峡温泉

温泉の入り方

入浴の際には、十分に水分補給してから入ります。

湯船につかる前に「かけ湯」をたっぷりとして、汚れを落とします。湯船につかる際には、湯口から最も遠い場所である湯尻から入浴するのがエチケットです。

入浴してからはしばらくの間は、横隔膜のある高さ(胸とへその中間)までつかり、それから肩までの全身浴に移ります。額に汗がにじんできたところで湯から上がり、何度か繰り返して湯につかります。

入浴後は、肌に着した温泉成分を洗い流さずに水分を軽く拭いてあげられます。ただし、幼児や高齢の方の肌の弱い方は、酸性泉や硫酸泉などの刺激の強い温泉に入浴した場合は洗い流した方がよいです。
湯から上がった後は、常温の水などで水分補給し、汗が引くまで待ちます。入浴は体力を消耗するため、30分以上体を休め、体調を整えましょう。

僕も温泉大好き♪
みんなもおいでよ!



かっぱんのプロフィール

おけに足を突っ込んで遊んでいたところ、「かっぱん」という大きな音とともに抜けなくなったため、「かっぱん」と呼ばれている。大好きな定山溪のPR活動をしており、今年の7月24日に南区特別住民票を取得。

この特集についての問い合わせ先
社団法人 定山溪観光協会
南区定山溪温泉東3丁目
☎598-2012